

平成30年10月19日
東日本高速道路株式会社
北海道支社

しりべし よいち おたる
E5A 後志自動車道(余市IC～小樽JCT間)が
平成30年12月8日(土)に開通します

NEXCO東日本北海道支社(札幌市厚別区)が建設を進めている **E5A 後志自動車道の余市**
インターチェンジ(IC)～**小樽ジャンクション(JCT)**までの区間(延長23.3km)が、平成30年12月8日
(土)に開通することになりましたので、お知らせします。

今回の開通区間の概要と、期待される開通効果は以下のとおりです。

《開通区間の概要》(別紙)

【開通区間】 余市IC(北海道余市郡余市町登町)～小樽JCT(北海道小樽市新光町)
【延長】 23.3km

<期待される主な開通効果>

■国道5号の安全性の向上と代替路確保

国道5号の走行安全性の向上や津波災害時の広域避難路、緊急輸送道路としての機能が期待されます。

■噴火災害時の代替路確保

噴火リスクが高い有珠山や樽前山の噴火災害時において、道央圏と道南圏を結ぶ広域的な代替路や避難路としての機能が期待されます。

■観光の活性化

道央圏から後志地域への所要時間短縮により、観光地へのアクセス性が向上し、更なる観光客の集客が期待されます。

■地域の安全・安心な暮らしに寄与

三次医療施設までの搬送時間短縮などによる後志地域の救急医療体制の強化により、地域の安全・安心な暮らしに寄与することが期待されます。

■農水産品の輸送の利便性向上

迅速性・定時性の向上や安定的な輸送により、地域の特産品であるウニやぶどうなどの販路拡大や輸送品質の向上が期待されます。

開通時間や通行料金、開通式典などについては、改めてお知らせします。

E5A しりべし
後志自動車道

よいち おたる
余市 I C ~ 小樽 J C T 延長 23.3 km

平成30年12月8日(土)開通

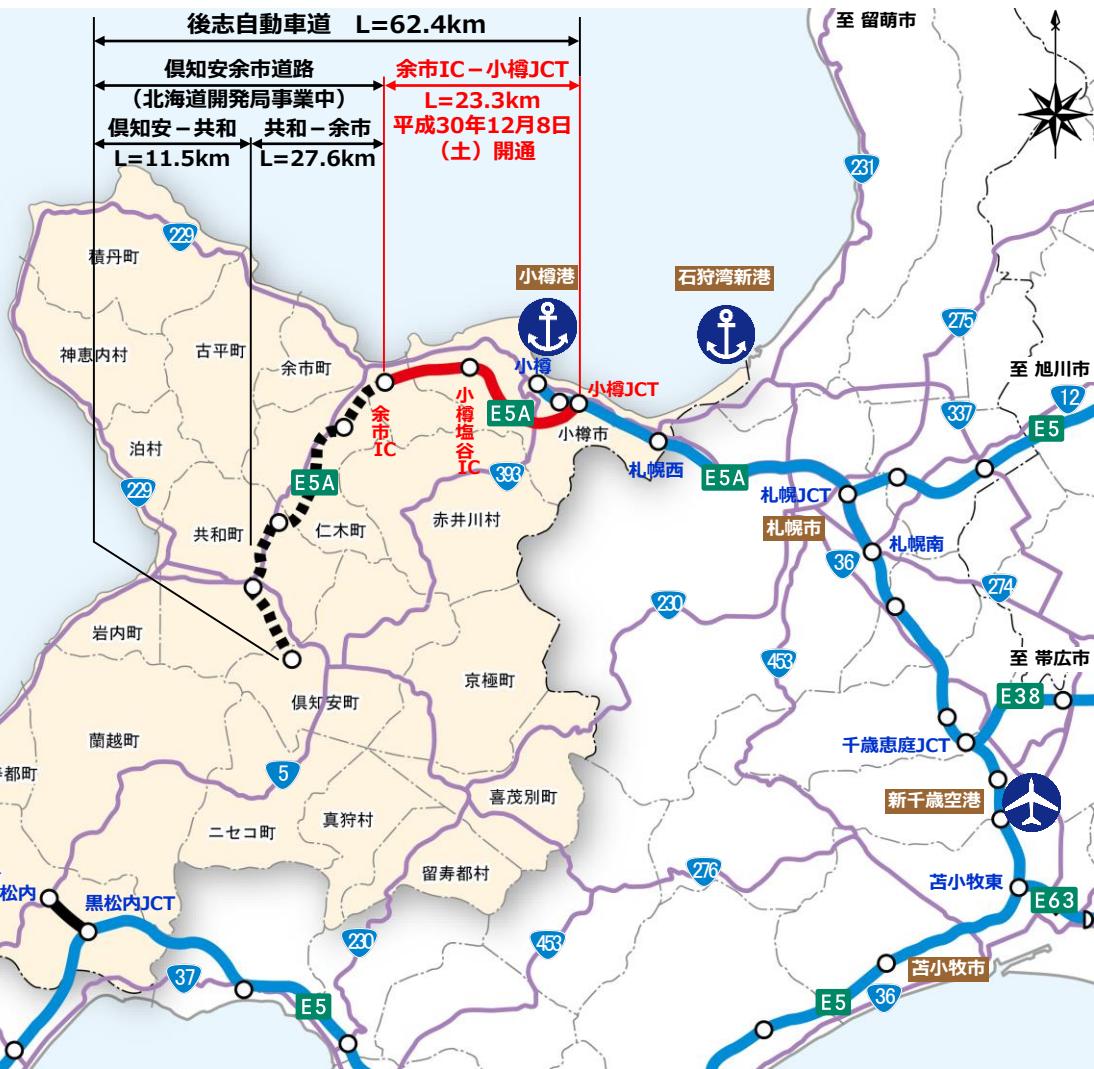
○後志自動車道（北海道横断自動車道）は、北海道を東西に横断し、後志・道央地域などの連絡の強化を図り、沿線地域の安全・安心を確保するとともに、産業・経済・観光等の発展に資する高規格幹線道路です。

○今回、余市ICから小樽JCTまでの23.3kmの区間が、平成30年12月8日（土）に開通します。

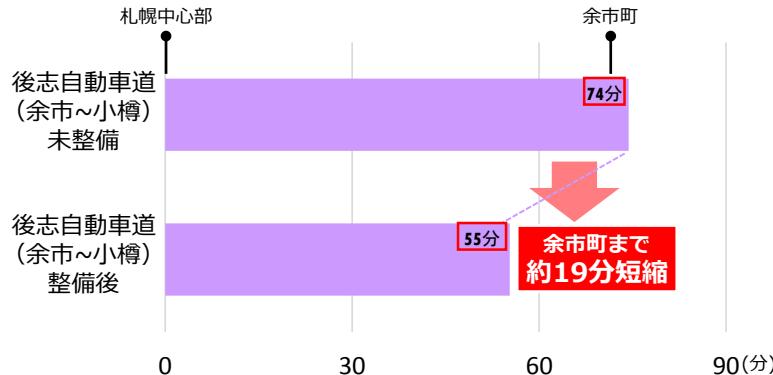
▼北海道の高規格幹線道路網



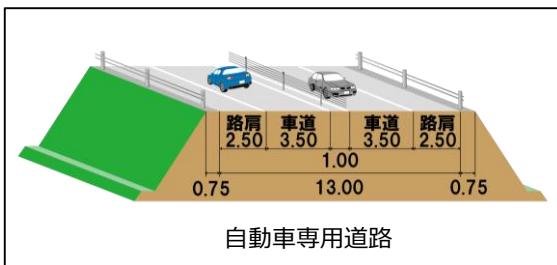
▼開通区間位置図



▼札幌中心部から余市方面までの所要時間



▼標準断面図



国道5号の安全性向上と代替路確保



後志自動車道 余市IC～小樽JCT

後志自動車道 余市IC付近

- 当該区間に並行する国道5号には、事故危険区間が19カ所存在しており、死傷事故率も北海道内の国道平均に比べて高く、さらには地震発生時に津波の浸水による進入規制が想定
- 当該区間の整備により安全性の向上が図られるとともに、当該区間は津波の影響を受けないことから、津波発生時の広域避難路や緊急輸送道路としての機能に期待

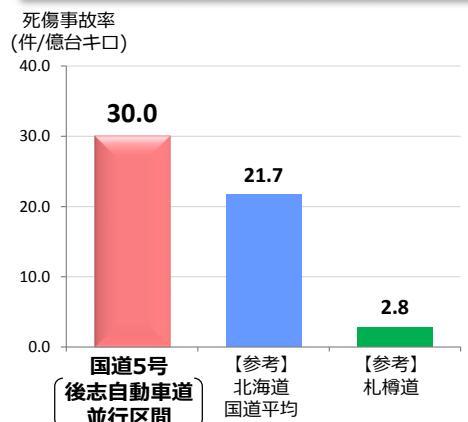
国道5号の事故危険区間



資料・北海道開拓局

資料：北海道開発局
※事故危険区間は、H22 H25 H28選定区間

国道5号の死傷事故率



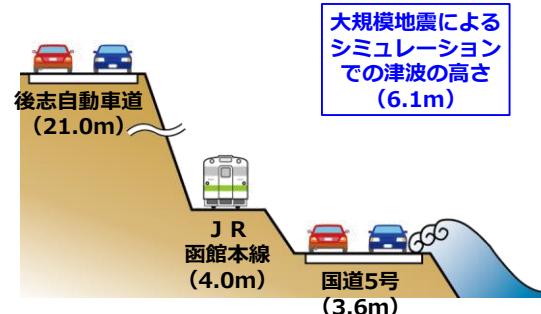
資料：国道5号・北海道国道平均：ITARDA (H25-H28)
札樽道：NEXCO東日本 (H25-H29)

津波警報発令時における国道5号の進入規制区間



資料：日本海沿岸の津波浸水想定 (北海道総務部危機対策局危機対策課 H28.12.5公表)

蘭島地域における津波浸水想定の状況



資料：「日本海の大規模地震に関する政府調査検討会による
津波シミュレーション結果」（H26.8.27公表）
電子国土Web

噴火災害時の代替路確保

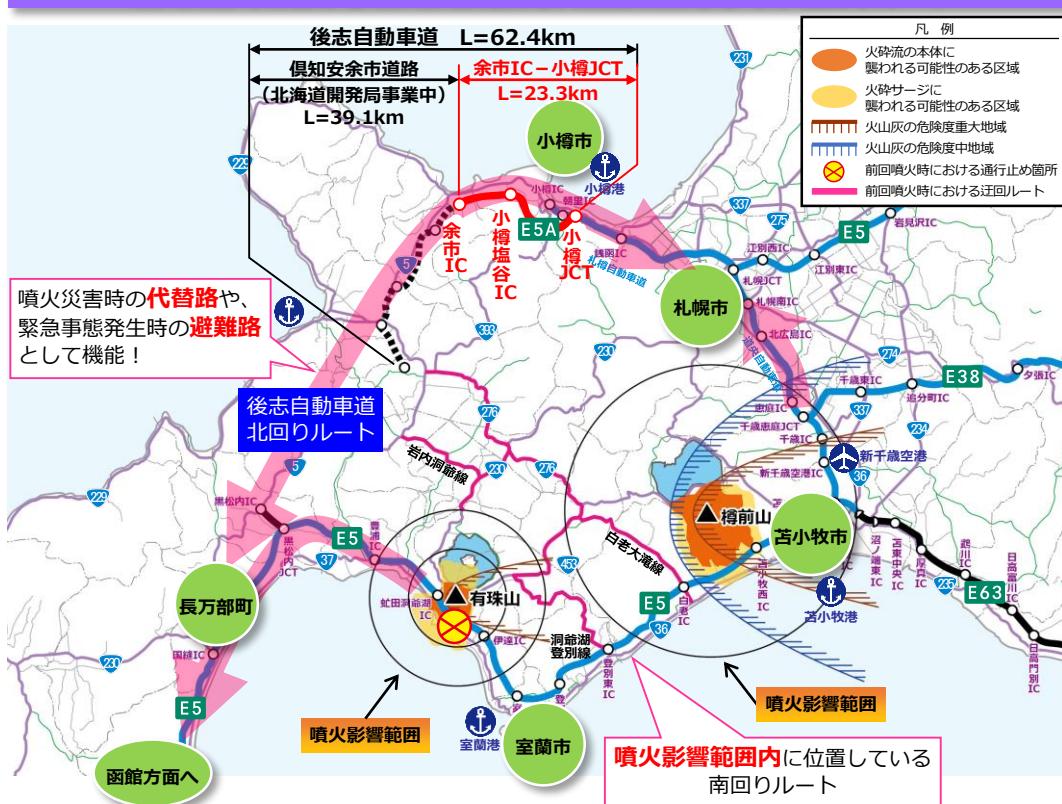


後志自動車道 余市IC～小樽JCT

有珠山

- 有珠山は、おおむね30年に1回の確率で噴火が発生し、樽前山も活火山であることから、噴火発生リスクが高まっており、有珠山や樽前山が噴火した場合、噴火影響範囲内の道央自動車道や国道230号等の通行止めが想定されるため、社会的に大きな影響を及ぼす懸念あり
- 有珠山や樽前山の噴火時に、道央圏と道南圏を結ぶ北回りの代替路や避難路としての機能に期待

噴火災害時における噴火影響範囲と代替路機能としての北回りルート

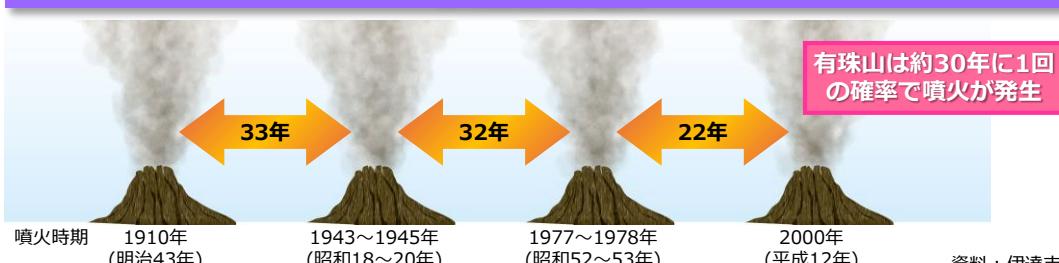


有珠山の噴火時状況 (平成12年3月31日)



噴火直後の状況

有珠山噴火の歴史



資料：伊達市



国道230号被災状況

観光の活性化



後志自動車道 余市IC～小樽JCT

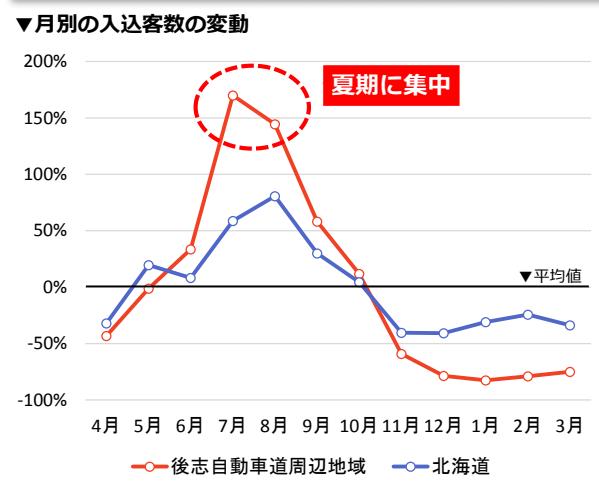
積丹町 神威岬

- 果物狩りや景勝地など豊富な観光資源を有している後志自動車道周辺地域では、夏期の観光客が多いことから、特に観光客の主要観光ルートである国道5号は、観光シーズンの夏期に旅行速度が低下
- 当該区間の整備による道央圏からの所要時間短縮により、観光地へのアクセス性が向上し、更なる観光客の集客に期待

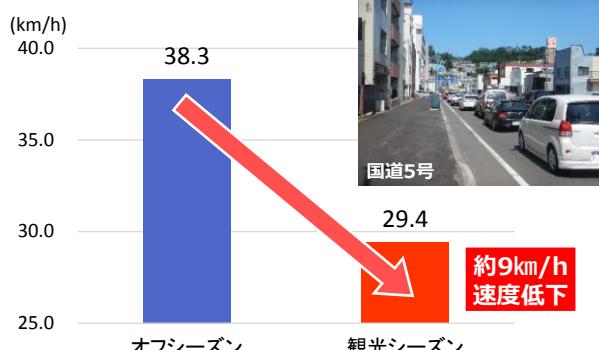
後志自動車道周辺地域の観光入込客数



後志自動車道周辺地域の観光入込状況



国道5号金市～小樽間※の旅行速度



声 余市町地元企業の声

○観光シーズンになると、国道5号余市～小樽間は渋滞している印象があります。余市ICが開通すると、高速道路の利用が増加し、国道5号の交通混雑が減少することで、観光客が来訪しやすくなると思います。

資料：H27全国道路・街路交通情勢調査【オフシーズン(平日)は、H27.10】
ETC2.0プローブデータ

ETC2.0プローブデータ 【認証】（付属）

【観光シーズン(休日)】

5号余市～小樽間：道道登余市停車場線交差点（余市町黒川町8丁目）～道道小樽港線交差点（小樽市芦竹交差点）

道道小樽港線交差点（小樽市若竹交差点）

地域の安全・安心な暮らしに寄与



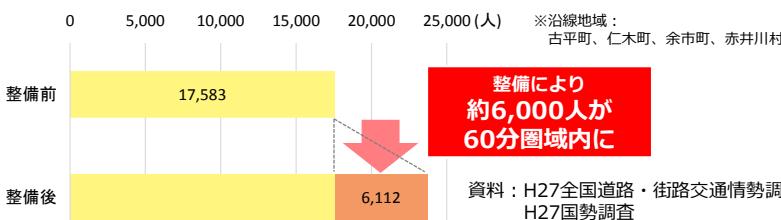
後志自動車道 余市IC～小樽JCT

- 後志管内には三次医療施設は存在せず、最も近い三次医療施設である札幌手稲済仁会病院からの整備前の60分圏域は余市町まで
- 当該区間の整備により、三次医療施設までの搬送時間が15分短縮され、60分圏域が古平町・仁木町・赤井川村（約6,000人）まで拡大し、後志地域の救急医療体制が強化

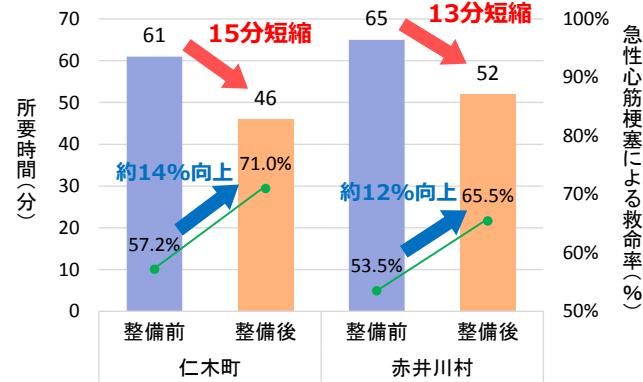
後志自動車道整備後の三次医療施設60分圏域



沿線地域※における当該区間整備による60分圏域内の人団増加

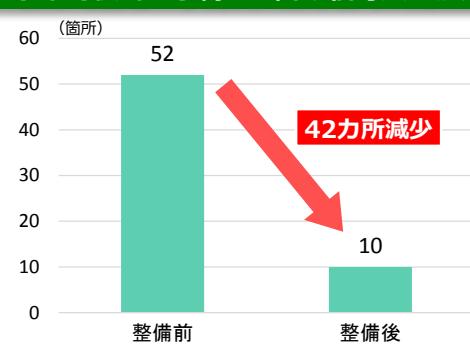


札幌手稲済仁会病院への所要時間・救命率の変化



資料：H27全国道路・街路交通情勢調査
「道路整備による救急医療改善効果」(交通工学Vol.45 No.5 2010)
※重症度が中等症の急性心筋梗塞を対象

余市町役場～小樽JCT間の信号交差点数



資料：北海道交通安全協会（H29.7現在）

声 羊蹄山ろく消防組合消防本部の声

- 患者をできるだけ揺らさず、症状の悪化を防ぐのは救急搬送の基本です。
- 搬送時間の短縮はもちろんですが、振動の少ない安定搬送ができるのも大きな効果と考えます。

農水産品の輸送の利便性向上

仁木町 ぶどう



積丹地区（余市町、古平町、積丹町）うに

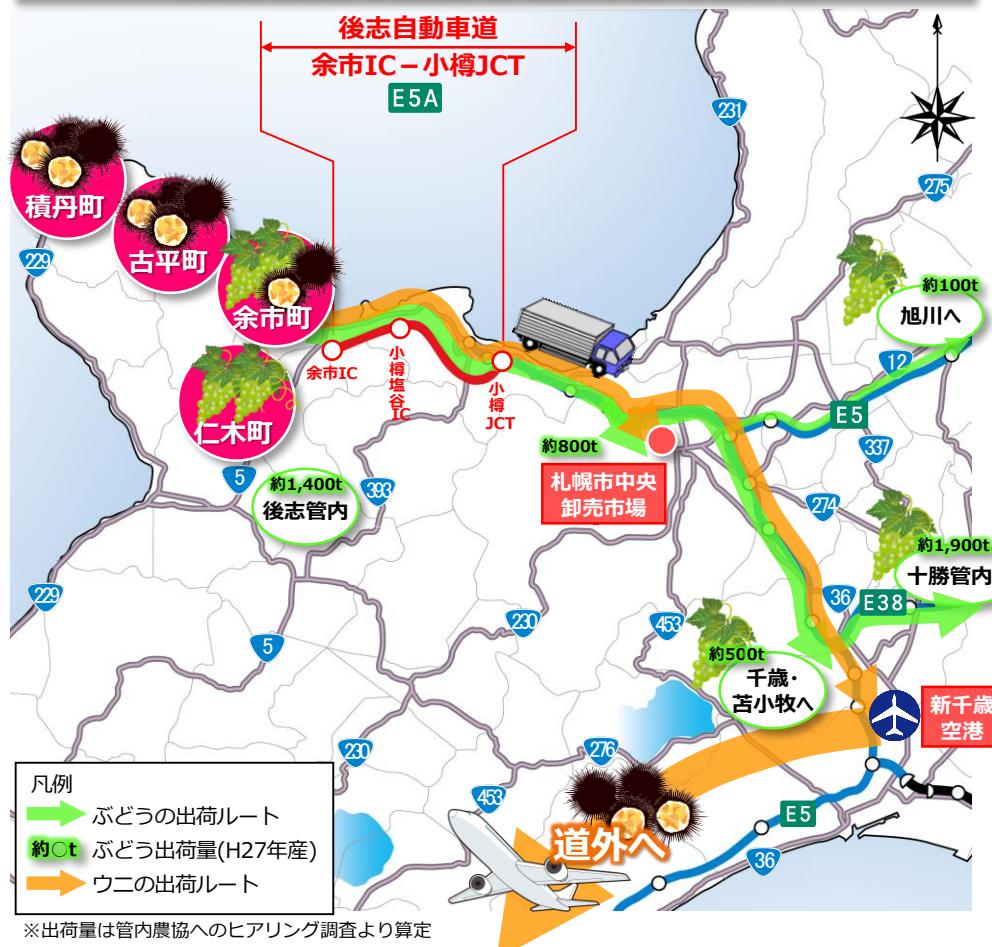


後志自動車道 余市IC～小樽JCT

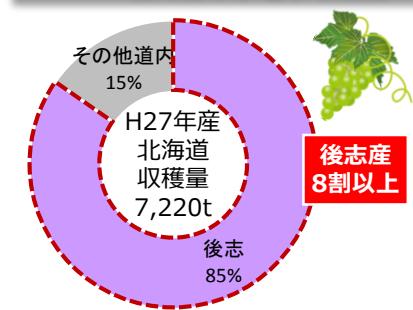
- 後志地域のぶどう収穫量は北海道全体の8割以上を占め、道内各地に出荷
- 積丹地区※のウニ漁獲高は北海道全体の約1割、その多くが東京中央卸売市場などへ航空便で輸送
- 当該区間の整備により、迅速性・定時性が向上し、安定的な輸送を支援

※積丹地区：余市町、古平町、積丹町

後志管内における特産品（ぶどう・ウニ）の輸送状況



北海道のぶどう収穫量



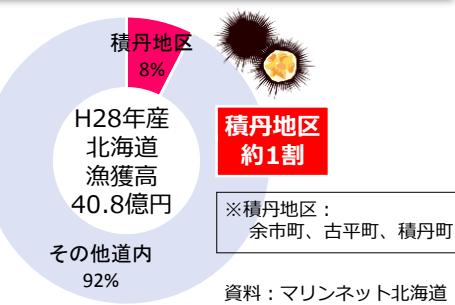
資料：作物統計（農林水産省）、後志の農業（後志総合振興局）

▼後志産ぶどうの出荷先

後志産ぶどう収穫量（約6,100t）



北海道のウニ漁獲高



新おたる農協の声

- ぶどうは振動を受けると房から粒が落ちてしまい、売り物にならないため、高速道路が整備されると揺れが減り、安定した出荷ができるようになります。

東しゃこたん漁協の声

- ウニなどの単価の高い水産物は航空便で本州へ輸送しています。高速道路の整備により少しでも輸送時間が短縮されると飛行機の時間にも余裕ができます。